

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2022年 5 月31日
【計算期間】	第10期中（自 2021年 9 月 1 日 至 2022年 2 月28日）
【ファンド名】	ノムラ・ファンド・セレクト - ターキッシュ・ボンド (Nomura Fund Select - Turkish Bond)
【発行者名】	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー (Global Funds Trust Company)
【代表者の役職氏名】	取締役 フランソワ・ジョン (Francois John, Director)
【本店の所在の場所】	ケイマン諸島、KY1 - 1104、グランド・ケイマン、 ウグランド・ハウス、私書箱309 (PO Box 309, Ugland House, Grand Cayman KY1-1104, Cayman Islands)
【代理人の氏名又は名称】	弁護士 竹野 康造 同 大西 信治
【代理人の住所又は所在地】	東京都千代田区丸の内二丁目 6 番 1 号 丸の内パークビルディング 森・濱田松本法律事務所
【事務連絡者氏名】	弁護士 竹野 康造 同 大西 信治
【連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目 6 番 1 号 丸の内パークビルディング 森・濱田松本法律事務所
【電話番号】	03 (6212) 8316
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【ファンドの運用状況】

グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー（Global Funds Trust Company）（以下「管理会社」といいます。）により管理されるノムラ・ファンド・セレクト - ターキッシュ・ボンド（Nomura Fund Select - Turkish Bond）（以下「ファンド」といいます。）の運用状況は以下のとおりです。

（１）【投資状況】

資産別および地域別の投資状況

（2022年３月末日現在）

資産の種類	国名	時価合計（トルコリラ）	投資比率（％）
国債	トルコ	46,647,400	94.92
現金およびその他の資産（負債控除後）		2,498,220	5.08
合計 （純資産総額）		49,145,620 （約411百万円）	100.00

（注１）投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（注２）トルコリラ、アメリカ合衆国ドル（以下「米ドル」といいます。）およびオーストラリアドル（以下「豪ドル」といいます。）の円貨換算は、2022年３月31日現在の株式会社三菱ＵＦＪ銀行の対顧客電信売買相場の仲値である、１トルコリラ＝8.36円、１米ドル＝122.39円および１豪ドル＝92.00円によります。

（注３）ファンドは、ケイマン諸島の法律に基づいて設立されていますが、ファンドはトルコリラ建、クラス受益証券はトルコリラ建、米ドル建または豪ドル建のため、以下の金額表示は別段の記載がない限りトルコリラ貨、米ドル貨または豪ドル貨をもって行います。

（注４）本書の中で金額および比率を表示する場合、適宜の単位に四捨五入している場合があります。従って、合計の数字が一致しない場合があります。また、円貨への換算は、本書の中でそれに対応する数字につき所定の換算率で単純計算のうえ、必要な場合四捨五入してあります。従って、本書中の同一情報につき異なった円貨表示がなされている場合もあります。

（２）【運用実績】

【純資産の推移】

2022年３月末日および同日前１年間における各月末の純資産の推移は次のとおりです。

	純資産総額		１口当たり純資産価格					
			トルコリラクラス		米ドルクラス		豪ドルクラス	
	トルコリラ	円	トルコ リラ	円	米ドル	円	豪ドル	円
2021年４月末日	68,087,577.16	569,212,145	7.52	63	2.19	268	2.34	215
５月末日	67,590,210.97	565,054,164	7.51	63	2.12	259	2.27	209
６月末日	65,633,781.71	548,698,415	7.58	63	2.12	259	2.32	213
７月末日	64,468,795.52	538,959,131	7.60	64	2.19	268	2.46	226
８月末日	65,985,738.45	551,640,773	7.66	64	2.24	274	2.53	233
９月末日	66,209,689.25	553,513,002	7.72	65	2.12	259	2.42	223
10月末日	59,476,648.26	497,224,779	7.80	65	1.98	242	2.19	201
11月末日	56,732,062.90	474,280,046	7.70	64	1.41	173	1.66	153
12月末日	51,370,156.15	429,454,505	7.65	64	1.42	174	1.64	151
2022年１月末日	51,131,888.34	427,462,587	7.88	66	1.42	174	1.69	155
２月末日	50,603,849.49	423,048,182	7.84	66	1.37	168	1.58	145
３月末日	49,145,620.19	410,857,385	7.82	65	1.29	158	1.44	132

【分配の推移】

	１口当たり分配金					
	トルコリラクラス		米ドルクラス		豪ドルクラス	
	トルコリラ	円	米ドル	円	豪ドル	円
2021年４月	0.05	0.42	0.01	1.22	0.01	0.92
５月	0.05	0.42	0.01	1.22	0.01	0.92
６月	0.05	0.42	0.01	1.22	0.01	0.92
７月	0.05	0.42	0.01	1.22	0.01	0.92
８月	0.05	0.42	0.01	1.22	0.01	0.92
９月	0.05	0.42	0.01	1.22	0.01	0.92
10月	0.05	0.42	0.01	1.22	0.01	0.92
11月	0.05	0.42	0.01	1.22	0.01	0.92
12月	0.05	0.42	0.01	1.22	0.01	0.92
2022年１月	0.05	0.42	0.01	1.22	0.01	0.92
２月	0.05	0.42	0.01	1.22	0.01	0.92
３月	0.05	0.42	0.01	1.22	0.01	0.92

設定来累計 （2022年３月末日現在）	5.35	44.73	2.70	330.45	2.70	248.40
------------------------	------	-------	------	--------	------	--------

【収益率の推移】

期間	収益率（注１）		
	トルコリラクラス	米ドルクラス	豪ドルクラス
2021年４月１日～ 2022年３月末日	13.17%	- 35.02%	- 33.33%

（注１）収益率（％）＝ $100 \times (a - b) / b$

a = 当該期間最終日の１口当たり純資産価格（当該期間の分配金の合計額を加えた額）

b = 当該期間の直前の日の１口当たり純資産価格（分配落ちの額）

また、ファンドの暦年ベースでの収益率は次のとおりです。

期間	収益率（注２）		
	トルコリラクラス	米ドルクラス	豪ドルクラス
2013年	- 6.10%	-	-
2014年	15.91%	-	-
2015年	- 3.97%	- 18.20%	- 11.00%
2016年	7.93%	- 9.25%	- 8.94%
2017年	4.59%	- 1.55%	- 8.96%
2018年	- 16.82%	- 38.89%	- 32.88%
2019年	25.79%	11.96%	12.46%
2020年	5.26%	- 14.70%	- 21.98%
2021年	8.55%	- 37.65%	- 33.33%
2022年	4.18%	- 7.04%	- 10.37%

（注２）収益率（％）＝ $100 \times (a - b) / b$

a = 暦年末（2022年については３月末日）の１口当たり純資産価格（当該期間の分配金の合計額を加えた額）

b = 当該暦年の直前の暦年末の１口当たり純資産価格（分配落ちの額）

（トルコリラクラスの2013年の場合は10トルコリラ、米ドルクラスおよび豪ドルクラスの2015年の場合はそれぞれ10米ドルおよび10豪ドル）

(参考情報)

純資産総額および1口当たりの純資産価格の推移 (2022年3月末日現在)

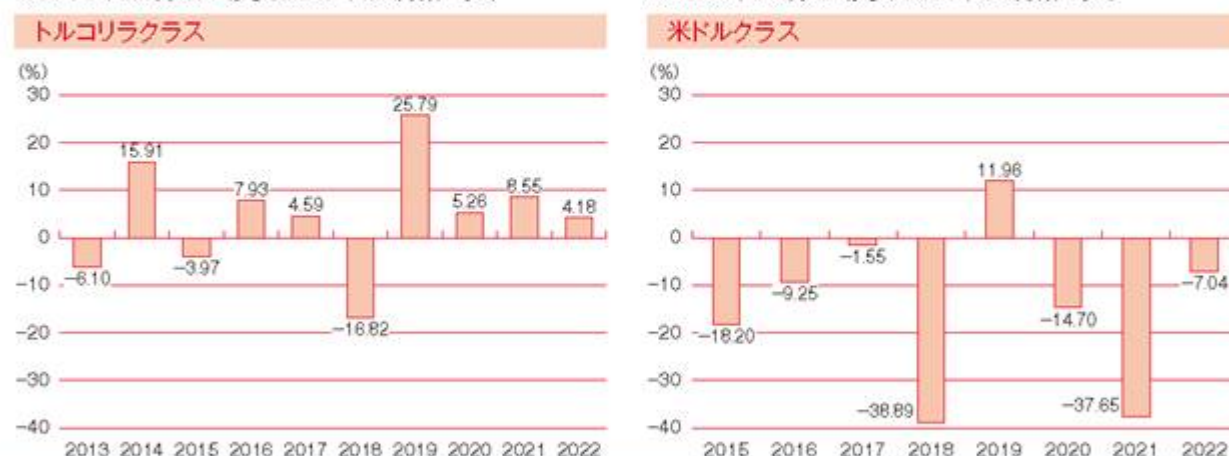


分配の推移

トルコリラクラス(単位:トルコリラ、1口当たり、課税前)		米ドルクラス(単位:米ドル、1口当たり、課税前)	
2021年11月	0.05	2021年11月	0.01
2021年12月	0.05	2021年12月	0.01
2022年 1月	0.05	2022年 1月	0.01
2022年 2月	0.05	2022年 2月	0.01
2022年 3月	0.05	2022年 3月	0.01
直近1年累計	0.60	直近1年累計	0.12
設定来累計	5.35	設定来累計	2.70

収益率の推移 (暦年ベース)

※2013年は3月27日から、2022年は3月末日まで

(注) 収益率(%) = $100 \times (a - b) / b$

a = 暦年末の1口当たりの純資産価格(当該期間の分配金の合計額を加えた額)

b = 当該暦年の直前の暦年末の1口当たり純資産価格(分配前の額)

*分配金に対する税金は考慮されていません。

*ファンドにはベンチマークはありません。

純資産総額および1口当たりの純資産価格の推移 (2022年3月末日現在)



分配の推移

豪ドルクラス(単位:豪ドル、1口当たり、課税前)

2021年11月	0.01
2021年12月	0.01
2022年 1月	0.01
2022年 2月	0.01
2022年 3月	0.01
直近1年累計	0.12
設定来累計	2.70

収益率の推移 (暦年ベース)

※2015年は3月3日から、2022年は3月末日まで



(注) 収益率(%) = $100 \times (a - b) / b$
 a = 暦年末の1口当たりの純資産価格(当該期間の分配金の合計額を加えた額)
 b = 当該暦年の直前の暦年末の1口当たり純資産価格(分配前の額)
 *分配金に対する税金は考慮されていません。
 *ファンドにはベンチマークはありません。

2【販売及び買戻しの実績】

2022年3月末日までの1年間における販売および買戻しの実績ならびに2022年3月末日現在の発行済口数は次のとおりです。

トルコリラクラス

販売口数	買戻口数	発行済口数
276,377 (276,377)	1,484,361 (1,484,361)	3,696,539 (3,696,539)

米ドルクラス

販売口数	買戻口数	発行済口数
4,700 (4,700)	755,864 (755,864)	890,500 (890,500)

豪ドルクラス

販売口数	買戻口数	発行済口数
10,700 (10,700)	35,600 (35,600)	214,616 (214,616)

（注）（ ）の数は本邦における販売・買戻しおよび発行済口数です。

3【ファンドの経理状況】

- a．ファンドの日本語の中間財務書類は、ルクセンブルグにおける法令に準拠して作成された原文の中間財務書類を翻訳したものです。これは「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第76条第4項ただし書の規定の適用によるものです。
- b．ファンドの原文の中間財務書類は、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第1条の3第7項に規定する外国監査法人等をいう。）の監査を受けていません。
- c．ファンドの原文の中間財務書類は、トルコリラで表示されています。日本語の中間財務書類には、主要な金額について円貨換算が併記されています。日本円による金額は、2022年3月31日現在における株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1トルコリラ＝8.36円）で換算されています。なお、千円未満の金額は四捨五入されています。

（１）【資産及び負債の状況】

ノムラ・ファンド・セレクト - ターキッシュ・ボンド

純資産計算書

2022年２月28日現在

（トルコリラで表示）

	注記	（トルコリラ）	（千円）
資産			
投資有価証券 - 時価 （取得価額：48,640,422トルコリラ）	2	48,249,620	403,367
銀行預金		1,199,332	10,026
受益証券の発行に係る未収金		784	7
未収収益		1,429,770	11,953
現金および現金同等物に係る利息		800	7
資産合計		50,880,306	425,359
負債			
受益証券買戻未払金		1,954	16
未払費用	9	274,503	2,295
負債合計		276,457	2,311
純資産		50,603,849	423,048

以下のように受益証券によって表象される。

	1口当たり 純資産価格	発行済 受益証券口数	純資産
トルコリラクラス受益証券（トルコリラ建て）	7.84	3,781,811 口	29,638,825
米ドルクラス受益証券（米ドル建て）	1.37	922,500 口	1,261,462
豪ドルクラス受益証券（豪ドル建て）	1.58	219,486 口	346,182

添付の注記は当財務書類の一部である。

ノムラ・ファンド・セレクト - ターキッシュ・ボンド

発行済受益証券口数の変動表

2022年2月28日に終了した期間

トルコリラクラス受益証券

期首現在発行済受益証券口数	4,567,680
発行受益証券口数	78,840
買戻受益証券口数	(864,709)
期末現在発行済受益証券口数	3,781,811

米ドルクラス受益証券

期首現在発行済受益証券口数	1,465,514
発行受益証券口数	500
買戻受益証券口数	(543,514)
期末現在発行済受益証券口数	922,500

豪ドルクラス受益証券

期首現在発行済受益証券口数	238,216
発行受益証券口数	10,400
買戻受益証券口数	(29,130)
期末現在発行済受益証券口数	219,486

[次へ](#)

ノムラ・ファンド・セレクト - ターキッシュ・ボンド

財務書類に対する注記

2022年2月28日現在

注1 - 組織

トラスト

ノムラ・ファンド・セレクト（以下「トラスト」という。）は、マスター・トラスト・カンパニー（以下「受託会社」という。）とグローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー（以下「管理会社」という。）により締結された2012年6月8日付基本信託証書により設立された。トラストは、ケイマン諸島の信託法（改訂済）に準拠するユニット・トラストである。

トラストは、ケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法（改訂済）に従って投資信託として規制され、ケイマン諸島金融庁（以下「CIMA」という。）に登録されており、英文目論見書および監査済財務諸表を毎年CIMAに提出する義務を負っている。

受託会社は、ケイマン諸島で設立され、管理会社の完全子会社である。

管理会社は、ケイマン諸島の銀行および信託会社法（改訂済）の規定に従って適法に設立され有効に存続する、投資信託事業の認可を付与された信託会社である。

ファンド

ノムラ・ファンド・セレクト - ターキッシュ・ボンド（以下「ファンド」という。）は、受託会社と管理会社との間で締結された2013年1月25日付補遺信託証書により設立された。

ファンドは、基本信託証書に記載される状況に従い早期償還する場合を除いて、

（ ）2023年3月27日または受託会社が投資顧問会社と協議した上で決定するそれよりも遅い日（ただし、基本信託証書の締結日から149年を超えないものとする。）、または

（ ）すべてのクラスの純資産総額の合計が2,000万トルコリラ（または相当額）を下回った場合、投資顧問会社と協議した上で受託会社の裁量により決定する日に

償還する。

受益証券のクラスは、当該クラスに帰属する純資産総額がトルコリラクラスについては2,000万トルコリラ、米ドルクラスについては2,000万米ドル相当額または豪ドルクラスについては2,000万豪ドル相当額を下回った場合、投資顧問会社と協議した上で受託会社の裁量により償還する場合がある。

ファンドの投資目的は、インカム・ゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指すことによりトータル・リターンを追求することである。ファンドは、主にトルコリラ建ての債券（国債、ソブリン債（国際機関債を含む。）、準ソブリン債、社債等）（以下「トルコ債券」と総称する。）に投資することにより、その目的の達成を目指す。

2022年2月28日現在、ファンドの受益証券は、トルコリラ受益証券クラス（以下「トルコリラクラス受益証券」という。）、米ドル受益証券クラス（以下「米ドルクラス受益証券」という。）および豪ドル受益証券クラス（以下「豪ドルクラス受益証券」という。）の3つのクラスが募集されている。

将来、ファンドの受益証券のクラスを追加することができる。

注2 - 重要な会計方針

財務書類は、投資信託に適用されるルクセンブルグにおいて一般に公正妥当と認められた会計原則に準拠して作成されており、以下の重要な会計方針が含まれている。

投資有価証券

- (a) 証券取引所に上場されているか、その他の規制市場で取引されている証券は、かかる取引所もしくは市場で取引または評価された入手可能な最新の価格で評価される。証券が、複数の証券取引所もしくは市場において上場または取引されている場合、当該証券の主要な市場を構成する証券取引所またはその他の規制された市場における入手可能な最新の終値または最も代表的な価格が用いられる。
- (b) いずれの証券取引所においても上場されておらず、いずれの規制された市場においても取引されていない証券または上記(a)に基づき決定された価格がその公正価格を表していない証券は、その入手可能な最新の市場価格で評価される。かかる市場価格がない場合、またはかかる市場価格が当該証券の公正な市場価格を表していない場合、当該証券は、その合理的に予測可能な売値に基づき慎重かつ誠実に評価される。
- (c) 投資対象は、国際的に認められた値付け業者による値付けに基づいて価格を決定することができる。
- (d) 市場相場が容易に入手できない証券またはその他の資産は、管理会社および投資顧問会社の助言を受けて管理事務代行会社が採用する手続きに従って誠実に決定される公正価格で評価される。
- (e) 現金およびその他の流動資産は、未収利息を含むその額面価額で評価される。

投資取引および投資収益

投資取引は、取引日に会計処理される。受取利息は、発生基準で認識される。配当金は、配当落日に計上される。証券取引に係る実現損益は、売却された証券の平均原価を基準に算定される。

外貨換算

ファンドは、その会計帳簿をトルコリラで記帳し、財務書類はトルコリラで表示される。トルコリラ以外の通貨建ての資産および負債は、期末現在の適用為替レートでトルコリラに換算される。トルコリラ以外の通貨建ての収益および費用は、取引日の適正な為替レートでトルコリラに換算される。

トルコリラ以外の通貨建ての投資有価証券取引は、取引日に適用される為替レートでトルコリラに換算される。

ファンドは、投資有価証券に係る為替レートの変動の結果生じる運用実績の部分と、保有証券の市場価格変動から生じる部分を分離しない。かかる変動は、投資有価証券による実現および未実現純損益に計上される。

2022年2月28日現在の為替レート：

1 トルコリラ = 0.09943 豪ドル

1 トルコリラ = 0.06424 ユーロ

1 トルコリラ = 0.07215 米ドル

注3 - 受託会社報酬

受託会社は、各四半期中の各ファンド営業日に計算されるファンドの純資産総額の年率0.01%に相当する額の報酬を、ファンドの資産から、トルコリラにより、会計年度ベースで四半期ごとに後払いで受領する。

各四半期について支払われる報酬は、当該四半期の最終ファンド営業日から60ファンド営業日以内に支払われる。

ファンドに関して生じたすべての適切な立替費用および支出金もまた、ファンドの資産から受託会社に払い戻される。

注4 - 管理会社報酬

管理会社は、各四半期中の各ファンド営業日に計算されるファンドの純資産総額の年率0.01%に相当する額の報酬を、ファンドの資産から、トルコリラにより、会計年度ベースで四半期ごとに後払いで受領する。

各四半期について支払われる報酬は、当該四半期の最終ファンド営業日から60ファンド営業日以内に支払われる。

ファンドに関して生じたすべての適切な立替費用および支出金もまた、ファンドの資産から、管理会社に払い戻される。

注5 - 投資顧問会社報酬

投資顧問会社は、各四半期中の各ファンド営業日に計算されるファンドの純資産総額の年率0.45%に相当する額の報酬を、ファンドの資産から、トルコリラにより、会計年度ベースで四半期ごとに後払いで受領する。

各四半期について支払われる報酬は、当該四半期の最終ファンド営業日から60ファンド営業日以内に支払われる。

ファンドに関して生じたすべての適切な立替費用および支出金もまた、ファンドの資産から、投資顧問会社に払い戻される。

注6 - 保管会社報酬

保管会社は、その業務につき、取引手数料および費用に加え、各四半期中の各ファンド営業日に計算されるファンドの純資産総額の年率0.03%に相当する額の報酬を、ファンドの資産から、トルコリラにより、会計年度ベースで四半期ごとに後払いで受領する権利を有する。

各四半期について支払われる報酬は、当該四半期の最終ファンド営業日から60ファンド営業日以内に支払われる。

ファンドに関して生じたすべての適切な立替費用および支出金もまた、ファンドの資産から、保管会社に払い戻される。

注7 - 管理事務代行報酬

管理事務代行会社は、その業務につき、各四半期中の各ファンド営業日に計算されるファンドの純資産総額の年率0.10%に相当する額の報酬を、トルコリラにより、ファンドの資産から、会計年度ベースで四半期ごとに後払いで受領する権利を有する。

各四半期について支払われる報酬は、当該四半期の最終ファンド営業日から60ファンド営業日以内に支払われる。

ファンドに関して生じたすべての適切な立替費用および支出金もまた、ファンドの資産から、管理事務代行会社に払い戻される。

注8 - 代行協会員報酬

代行協会員は、その業務につき、各四半期中の各ファンド営業日に計算されるファンドの純資産総額の年率0.50%に相当する額の報酬を、トルコリラにより、ファンドの資産から、会計年度ベースで四半期ごとに後払いで受領する権利を有する。

各四半期について支払われる報酬は、当該四半期の最終ファンド営業日から60ファンド営業日以内に支払われる。

注9 - 未払費用

(トルコリラ)

投資顧問会社報酬	58,427
代行協会員報酬	64,872
管理事務代行報酬	12,976
保管会社報酬	3,896
受託会社報酬および管理会社報酬	2,594
現金支出費	1,295
専門家報酬	130,443
未払費用	274,503

注10 - 分配

管理会社は、各クラス受益証券の受益者に対し、当該クラスに帰属する分配可能なファンドのインカム・ゲインおよび実現キャピタル・ゲインを支払原資として、受託会社および投資顧問会社と協議した上で随時分配を行うことができる。管理会社は、分配金を合理的な水準に保つために必要があると考える場合、投資顧問会社と協議の上でファンドの未実現キャピタル・ゲインまたは元本を支払原資として分配を行うことができる。

管理会社は、毎月5日（以下「分配基準日」という。分配基準日がファンド営業日ではない場合、その直前のファンド営業日）時点の受益者に対して分配を行うことを予定している。管理会社が投資顧問会社と協議した上で随時決定するその他の日時時点の受益者に対して行うこともできる。

分配は、分配基準日において登録簿に名前が登録されている受益者に対して行われる。

2022年2月28日に終了した期間に、ファンドは総額2,139,380トルコリラの分配を行った。

注11 - 税金

ケイマン諸島の現行法では、ファンドは、いかなる所得税、資産税、譲渡税、売却税その他の税金も課されることがなく、また、ファンドによる受益者への支払いまたは受益証券の買戻しの際の純資産額の支払いに対して適用される源泉徴収税も賦課されない。

ファンドは、特定の利息、配当金およびキャピタル・ゲインに対し海外源泉徴収税が賦課されることがある。

注12 - 購入および買戻し

受益証券の募集

受益証券は、適格投資家に対してファンド営業日において継続的に募集される。各受益証券の発行価格は、締切時間までに受領された場合、当該クラスの受益証券の購入申込書が受領されたファンド営業日時点における当該クラスの受益証券1口当たり純資産価格とする。

投資者一人当たりの最低投資口数は100口でこれを超える場合は1口単位、または管理会社が投資顧問会社と協議した上で決定する金額または口数とする。受益証券は、整数でのみ発行される。

販売会社に支払われる販売手数料は、受益証券の1口当たり純資産価格の最大3.00%（税抜き）である。

受益証券の購入申込書は、申込みを行ったファンド営業日の正午（ルクセンブルグ時間）または管理会社はその単独の裁量により随時決定することができるその他の日時までに、管理事務代行会社によって受領されなければならない。当該締切時間を過ぎて受領された申込みは、翌ファンド営業日に受領されたものとみなされる。

受益証券の購入に関する送金は、当該クラスの表示通貨建ての電信送金により、申込みを行ったファンド営業日から6ファンド営業日以内および/または管理会社はその単独の裁量により随時決定することができるその他の日までに行われるものとする。ただし、米ドルクラスについては6ファンド営業日目がニューヨークにおける銀行営業日でない場合はその直後のニューヨークにおける銀行営業日とし、豪ドルクラスについては6ファンド営業日目がメルボルンにおける銀行営業日でない場合はその直後のメルボルンにおける銀行営業日とする。

管理会社は、受益証券の購入注文の全部または一部を拒否することができ、上記の適切に記入された申込書および支払いが適時に受領されなかった一切の注文を取り消すことができる。

買戻し

受益証券は、ファンド営業日において受益者の希望により買い戻される。受益者は、受益証券を買い戻すよう受託会社に請求する買戻通知を送付することができる。受益証券1口当たりの買戻価格は、買戻通知が受領されたファンド営業日時点における各クラスの受益証券1口当たり純資産価格とする。受益証券の買戻しの申込みは1口以上1口単位、または管理会社が投資顧問会社と協議した上で決定する金額または口数とする。

買戻通知は、申込みを行うファンド営業日の正午（ルクセンブルグ時間）または管理会社が単独の裁量により随時決定することができるその他の日および/もしくは時間までに、管理事務代行会社によって受領されなければならない。

受益証券の買戻しに関する送金は、トルコリラクラスについてはトルコリラ建て、米ドルクラスについては米ドル建ておよび豪ドルクラスについては豪ドル建ての電信送金により、申込みを行ったファンド営業日から6ファンド営業日以内および/または受託会社が管理会社と協議の上随時決定することができるその他の日までに行われるものとする。ただし、米ドルクラスについては6ファンド営業日目がニューヨークにおける銀行営業日でない場合はその直後のニューヨークにおける銀行営業日とし、豪ドルクラスについては6ファンド営業日目がメルボルンにおける銀行営業日でない場合はその直後のメルボルンにおける銀行営業日とする。

受託会社は、管理会社と協議の上、一切の買戻請求を停止、拒否、または取り消すことができ、また、買戻代金の支払いを延期することができる。

（２）【投資有価証券明細表等】

ノムラ・ファンド・セレクト - ターキッシュ・ボンド

投資有価証券明細表

2022年２月28日現在

（トルコリラで表示）

通貨	額面価額 ⁽¹⁾	銘柄	取得価額	時価	純資産に 占める割合 (%)
トルコ					
国債					
トルコリラ	11,800,000	TURKEY GOVT BOND 8.5000% 14/09/22	11,422,400	11,183,686	22.10
トルコリラ	9,800,000	TURKEY GOVT BOND 12.2000% 18/01/23	9,444,640	9,182,894	18.15
トルコリラ	8,600,000	TURKEY GOVT BOND 10.7000% 17/08/22	8,703,200	8,316,200	16.43
トルコリラ	8,000,000	TURKEY GOVT BOND 16.2000% 14/06/23	7,830,000	7,559,920	14.94
トルコリラ	8,000,000	TURKEY GOVT BOND 7.1000% 08/03/23	6,952,000	7,007,920	13.85
トルコリラ	5,000,000	TURKEY GOVT BOND 11.0000% 02/03/22	4,288,182	4,999,000	9.88
			48,640,422	48,249,620	95.35
		トルコ合計	48,640,422	48,249,620	95.35
投資有価証券合計			48,640,422	48,249,620	95.35

(1) 額面価額は、証券の原通貨で表示される。

添付の注記は当財務書類の一部である。

4【管理会社の概況】

（１）【資本金の額】

2022年３月末日現在、管理会社の資本金の額は50万ユーロ（約6,835万円）です。

（注）ユーロの円貨換算は、2022年３月31日現在の株式会社三菱ＵＦＪ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（１ユーロ＝136.70円）によります。

（２）【事業の内容及び営業の状況】

管理会社の事業目的は、ケイマン諸島の法律に抵触しない範囲においていかなる制約も受けません。

管理会社は、ファンドの資産の運用、管理およびファンド証券の発行・買戻し等の業務を行います。管理会社は、投資顧問会社である野村アセットマネジメント株式会社にファンドの投資運用業務を委託しています。

管理会社は、2022年３月末日現在、以下の投資信託の運用を行っており、その管理財産は約436億円です。

国別（設立国）	種類別	本数	純資産の合計（通貨別）
ケイマン諸島	契約型投資信託	13	270,870,414.36 米ドル
		1	28,921,787.06 トルコリラ
		2	1,666,963.54 ユーロ
		7	108,786,267.75 豪ドル

（３）【その他】

本書提出前６か月以内において、訴訟事件その他管理会社に重要な影響を及ぼした事実、または及ぼすことが予想される事実は認知しておりません。

5【管理会社の経理の概況】

- a．管理会社の直近2事業年度の日本語の財務書類は、ルクセンブルグにおける法令に準拠して作成された原文の財務書類を翻訳したものです。これは「特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令」に基づき、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第131条第5項ただし書の規定の適用によるものです。
- b．管理会社の原文の財務書類は、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第1条の3第7項に規定する外国監査法人等をいう。）であるアーンスト・アンド・ヤング・リミテッドから監査証明に相当すると認められる証明を受けており、当該監査証明に相当すると認められる証明に係る監査報告書に相当するもの（訳文を含む。）が当該財務書類に添付されています。
- c．管理会社の原文の財務書類は、ユーロで表示されています。日本語の財務書類には、主要な金額について円貨換算が併記されています。日本円による金額は、2022年3月31日現在における株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1ユーロ＝136.70円）で換算されています。なお、千円未満の金額は四捨五入されています。

（１）【資産及び負債の状況】

グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー

貸借対照表

2021年３月31日現在

（単位：ユーロ）

		2021年 3 月31日		2020年 3 月31日	
	注記	ユーロ	千円	ユーロ	千円
資産					
固定資産					
金融資産					
関連会社株式	5	600,000	82,020	600,000	82,020
長期保有目的投資有価証券	5	14,855	2,031	12,960	1,772
		614,855	84,051	612,960	83,792
流動資産					
債権					
売掛金					
a) 1 年以内に期限到来		1,776,116	242,795	1,859,260	254,161
銀行預金および手許現金	9	2,993,515	409,214	4,451,230	608,483
		4,769,631	652,009	6,310,490	862,644
資産合計		5,384,486	736,059	6,923,450	946,436
資本、準備金および負債					
資本および準備金					
払込済資本	3	500,000	68,350	500,000	68,350
繰越損益	4	2,846,310	389,091	2,466,963	337,234
当期損益		340,815	46,589	379,347	51,857
		3,687,125	504,030	3,346,310	457,441
債務					
買掛金					
a) 1 年以内に期限到来	7	271,737	37,146	67,000	9,159
関連会社に対する債務					
a) 1 年以内に期限到来	7 , 9	1,425,624	194,883	3,510,140	479,836
		1,697,361	232,029	3,577,140	488,995
資本、準備金および負債合計		5,384,486	736,059	6,923,450	946,436

添付の注記は当該財務諸表の重要な部分である。

（２）【損益の状況】

グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー

損益計算書

2021年３月31日に終了した年度

（単位：ユーロ）

	注記	2021年３月31日終了年度		2020年３月31日終了年度	
		ユーロ	千円	ユーロ	千円
1 から 5 . 総損益	10	394,586	53,940	397,186	54,295
10 . 固定資産の一部を構成する その他の投資および貸付からの収益					
b) a) に含まれないその他の収益		81	11	8,271	1,131
11 . その他の未収利息および類似の収益					
b) その他の利息および類似の収益		-	-	265	36
13 . 金融資産および流動資産として保有 される投資有価証券に係る評価額調整	5	1,224	167	(1,148)	(157)
14 . 未払利息および類似の費用					
a) 関連会社に関連するもの	9	(28,965)	(3,960)	(20,798)	(2,843)
b) その他の利息および類似の費用	11	(26,111)	(3,569)	(4,429)	(605)
16 . 税引後損益		340,815	46,589	379,347	51,857
18 . 当期損益		340,815	46,589	379,347	51,857

添付の注記は当該財務諸表の重要な部分である。

グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー

財務諸表注記

2021年3月31日現在

（単位：ユーロ）

1．概況

グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー（以下、「当社」という。）は、1998年2月27日にケイマン諸島の会社法に基づいて免税会社として設立された。当社は、当初「グローバル・ファンズ・カンパニー」という名称で登録されていたが、1998年3月13日付けの特別決議により名称を変更した。当社は、銀行および信託会社法に基づき、1998年3月13日に信託免許を取得した。また同日に、当社はケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法に基づき発行されたミューチュアル・ファンド管理業者免許も取得した。当社はノムラ・バンク・ルクセンブルクS.A.の完全子会社である。

ノムラ・バンク・ルクセンブルクS.A.は、英国の法律のもとで設立され、ロンドンに登録上の事務所を有する持株会社であるノムラ・ヨーロッパ・ホールディング・ピーエルシー（以下、「親会社」という。）の子会社である。ノムラ・ヨーロッパ・ホールディング・ピーエルシーの連結財務諸表は、英国、EC4R 3ABロンドン、エンジェル・レーン1にて入手可能である。

ノムラ・バンク・ルクセンブルクS.A.の最終的な親会社は、日本の法律のもとで設立され、東京に登録上の事務所を有する持株会社である野村ホールディングス株式会社である。野村ホールディングス株式会社の連結財務諸表は、〒103-8645 東京都中央区日本橋1-13-1で入手可能である。

当社の主な事業活動は、投資ファンドに対して受託および管理サービスを提供し、それによって受託および管理報酬を得ることである。

2．重要な会計方針

作成の基礎

当社の財務諸表は、ルクセンブルグの法律および規制要件、ならびにルクセンブルグで一般に公正妥当と認められる会計原則に従い作成されている。

重要な会計方針の概要は以下の通りである。

外貨換算

当社は会計帳簿をユーロ建てで記帳しており、当該財務諸表はユーロ建てで表示されている。

ユーロ以外の通貨建ての資産および負債は、貸借対照表日現在の為替レートでユーロに換算される。ユーロ以外の通貨建ての収益および費用は、取引日現在の為替レートでユーロに換算される。外貨換算により生じる為替差損益は、当期の損益を決定する際に、損益計算書に計上される。

費用

費用は発生主義で計上される。

受取利息

受取利息は発生主義で計上される。

総損益

総損益には、その他外部費用を差し引いた、管理運用するファンドから受領する管理報酬が含まれている。売上高は、発生主義に基づいて計上される。

金融資産

金融資産は低価法で測定される。

3. 払込済資本

発行済みで全額払込済みの株主資本は、1株当たり額面10ユーロの記名株式50,000株で構成されている。当社は自己株式を取得していない。

4. 繰越損益

	(ユーロ)
2019年3月31日現在残高	2,159,859
前期利益	307,104
宣言された配当	-
2020年3月31日現在残高	2,466,963
2020年3月31日現在残高	2,466,963
前期利益	379,347
宣言された配当	-
2021年3月31日現在残高	2,846,310

5. 金融資産

金融固定資産の内訳は以下の通りである。

関連会社株式

当社は、2011年6月8日に設立されたケイマンに所在する法人であるマスター・トラスト・カンパニーの株式を100%所有している。

会社名	持分	取得原価（ユーロ）	2021年3月31日現在の監査済純資産（ユーロ）
マスター・トラスト・カンパニー	100%	600,000	2,857,825

長期保有目的投資有価証券

長期保有目的投資有価証券の内訳は、投資ファンドの受益証券・株式への投資である。

長期保有目的投資有価証券の増減は、以下のように要約される。

	2021年 (ユーロ)
取得原価：	
期首現在	14,455
期中の取得	709
期中の売却	(38)
期末現在	15,126
価格調整：	
期首現在	(1,148)
当期価格調整	1,098
期末現在	(50)
為替の影響	
期首現在	(347)
当期価格調整	126
期末現在	(221)
期末の正味価値	14,855
期末の市場価値	15,700

6．租税

当社は、ケイマン諸島政府から、現地におけるすべての収益、利益およびキャピタル・ゲインに係る税金を2034年1月6日まで免除することを約束されている。現時点では、ケイマン諸島にはそのような税金は存在しない。

当社は、特定の利息、配当およびキャピタル・ゲインの総額に対して課税される外国源泉徴収税の対象となる可能性がある。

7．債務

2021年3月31日現在、債務は、監査費用およびその他の保証業務費用111,800ユーロ（2020年3月31日：67,000ユーロ）、2015年1月12日付および2016年9月28日付けで当社とグローバル・ファンズ・マネジメント・エス・エーの間で締結された2つの契約に基づくグローバル・ファンズ・マネジメント・エス・エーに対する未払報酬88,624ユーロ（2020年3月31日：85,140ユーロ）、2014年3月31日付けで当社とノムラ・バンク・ルクセンブルクS.A.の間で締結された枠組契約に基づくノムラ・バンク・ルクセンブルクS.A.に対する未払報酬1,337,000ユーロ（2020年3月31日：3,425,000ユーロ）ならびにその他の未払金159,937ユーロ（2020年3月31日：0ユーロ）で構成される。ノムラ・バンク・ルクセンブルクS.A.により提供される業務には、資産管理サポート、法律業務、コンプライアンス、内部監査、ITならびに管理事務代行業務およびインフラ業務等が含まれるが、これらに限定されない。

8．従業員

当社は、2021年3月31日および2020年3月31日に終了した年度において、従業員はいなかった。

9．関連会社間取引

当社は、ノムラ・バンク・ルクセンブルクS.A.（ルクセンブルグにおいて設立）の完全子会社である。当社の最終的な親会社は、東京に所在する野村ホールディングス株式会社である。

通常の事業活動において、多数の銀行取引がノムラ・バンク・ルクセンブルクS.A.との間で行われている。これらには、当座勘定および外国為替取引が含まれる。

2021年3月31日に終了した年度において、当社はノムラ・バンク・ルクセンブルクS.A.に開設した当座勘定に係る借入利息28,965ユーロ（2020年3月31日に終了した年度：20,798ユーロ）を支払った。適用される利率は、非関連会社の顧客に適用されるものと同じ利率である。

さらに当社は、ノムラ・バンク・ルクセンブルクS.A.およびグローバル・ファンズ・マネジメント・エス・エーより報酬を請求される（上述の注記7を参照のこと。）。

10．総損益

2021年3月31日および2020年3月31日に終了した年度において、以下のとおり分析される。

	2021年3月31日 (ユーロ)	2020年3月31日 (ユーロ)
管理報酬	7,322,957	8,072,574
その他の外部費用	(6,928,371)	(7,675,388)
	394,586	397,186

2021年3月31日に終了した年度において、その他の外部費用は、主に、当社とノムラ・バンク・ルクセンブルクS.A.の間で締結された枠組契約に基づくノムラ・バンク・ルクセンブルクS.A.に対する未払年間報酬6,062,000ユーロ（2020年3月31日に終了した年度：6,960,000ユーロ）およびその他の報酬の総額866,371ユーロ（2020年3月31日に終了した年度：715,388ユーロ）で構成されている。

11．その他の利息および類似費用

2021年3月31日に終了した年度において、当社はスポットの為替取引に係る純損失26,111ユーロ（2020年3月31日に終了した年度：純損失4,083ユーロ）を計上した。

12．運用資産

当社が受益者として保有するものではないが、投資運用責任を有する資産については、貸借対照表には含まれていない。
2021年３月31日現在における当該資産残高は約38,789百万ユーロ（2020年３月31日：30,331百万ユーロ）である。

13．新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響

パンデミックは、2021年３月31日終了年度中の当社の活動に重大な影響を及ぼさなかった。当社は、正常な機能を確保するために適切な衛生対策を講じている。

14．後発事象

2021年３月31日より後に、2021年３月31日現在の年次財務書類に調整または追加の開示を必要とする事象は発生していない。

[次へ](#)

GLOBAL FUNDS TRUST COMPANY

Balance sheet as at March 31, 2021
(expressed in Euro)

	Note(s)	March 31, 2021	March 31, 2020
ASSETS			
FIXED ASSETS			
Financial assets			
Shares in affiliated undertakings	5	600,000	600,000
Investments held as fixed assets	5	<u>14,855</u>	<u>12,960</u>
		614,855	612,960
CURRENT ASSETS			
Debtors			
Trade debtors			
a) becoming due and payable within one year		1,776,116	1,859,260
Cash at bank and in hand	9	<u>2,993,515</u>	<u>4,451,230</u>
		4,769,631	6,310,490
TOTAL (ASSETS)		<u>5,384,486</u>	<u>6,923,450</u>
CAPITAL, RESERVES AND LIABILITIES			
CAPITAL AND RESERVES			
Subscribed capital	3	500,000	500,000
Profit or loss brought forward	4	2,846,310	2,466,963
Profit or loss for the financial year		<u>340,815</u>	<u>379,347</u>
		3,687,125	3,346,310
CREDITORS			
Trade creditors			
a) becoming due and payable within one year	7	271,737	67,000
Amounts owed to affiliated undertakings			
a) becoming due and payable within one year	7, 9	<u>1,425,624</u>	<u>3,510,140</u>
		1,697,361	3,577,140
TOTAL (CAPITAL, RESERVES AND LIABILITIES)		<u>5,384,486</u>	<u>6,923,450</u>

The accompanying notes form an integral part of these financial statements.

GLOBAL FUNDS TRUST COMPANY

Profit and loss account
for the year ended March 31, 2021
(expressed in Euro)

	Note(s)	March 31, 2021	March 31, 2020
1. to 5. Gross profit or loss	10	394,586	397,186
10. Income from other investments and loans forming part of the fixed assets			
b) other income not included under a)		81	8,271
11. Other interest receivable and similar income			
b) other interest and similar income		---	265
13. Value adjustments in respect of financial assets and of investments held as current assets	5	1,224	(1,148)
14. Interest payable and similar expenses			
a) concerning affiliated undertakings	9	(28,965)	(20,798)
b) other interest and similar expenses	11	(26,111)	(4,429)
16. Profit or loss after taxation		340,815	379,347
18. Profit or loss for the financial year		<u>340,815</u>	<u>379,347</u>

The accompanying notes form an integral part of these financial statements.

GLOBAL FUNDS TRUST COMPANY

Notes to the financial statements**As at March 31, 2021**

(expressed in Euro)

Note 1 – General

Global Funds Trust Company (the "Company") was incorporated as an exempted company on February 27, 1998 under the Companies Law of the Cayman Islands. The Company was originally registered under the name 'Global Funds Company' and changed its name by special resolution on March 13, 1998. The Company obtained a trust license effective March 13, 1998 under the Banks and Trust Company Law. Effective that same date, the Company also obtained a Mutual Fund Administrators License issued under the Mutual Funds Law of the Cayman Islands. The Company is a wholly owned subsidiary of Nomura Bank (Luxembourg) S.A.

Nomura Bank (Luxembourg) S.A. is a subsidiary of Nomura Europe Holding Plc (the "Parent company"), a holding company incorporated under the laws of United Kingdom and whose registered office is in London. The consolidated accounts of Nomura Europe Holding Plc may be obtained at 1 Angel Lane, London, EC4R 3AB, UK.

Nomura Bank (Luxembourg) S.A.'s ultimate parent is Nomura Holdings, Inc., a holding company incorporated under the laws of Japan whose registered office is in Tokyo. The consolidated accounts of Nomura Holdings, Inc. may be obtained at 1-13-1, Nihonbashi, Chuoku, Tokyo 103-8645, Japan.

The principal activity of the Company is to provide trust and management services to investment funds for which it receives trustee and management fees.

Note 2 – Summary of significant accounting policiesBasis of preparation

The financial statements of the Company are prepared in accordance with Luxembourg laws and regulatory requirements and according to generally accepted accounting principles applicable in Luxembourg.

The significant accounting policies are summarised as follows:

Foreign currency translation

The Company maintains its accounting records in Euro (EUR) and its financial statements are expressed in this currency.

Assets and liabilities in currencies other than EUR are translated into EUR at exchange rates prevailing at the balance sheet date. Income and expenses in currencies other than EUR are translated into EUR at exchange rates prevailing at the transaction dates. The exchange gain or loss arising from the translation of foreign currencies is recognised in the profit and loss account in determining the profit or the loss for the year.

GLOBAL FUNDS TRUST COMPANY

Notes to the financial statements (continued)
As at March 31, 2021
 (expressed in Euro)

Note 2 – Summary of significant accounting policies (continued)

Expenses

Expenses are recorded on an accruals basis.

Interest income

Interest income are recorded on an accruals basis.

Gross profit or loss

Gross profit or loss includes the management fees earned from funds under management less other external charges. The turnover is recorded on an accrual basis.

Financial assets

Financial assets are valued at the lower of cost or market value.

Note 3 – Subscribed capital

The share capital which is issued and fully paid represents 50,000 registered shares of a par value of EUR 10 each. The Company has not purchased its own shares.

Note 4 – Profit or loss brought forward

	<i>EUR</i>
Balance as at March 31, 2019	2,159,859
Previous year's profit	307,104
Dividends declared	---
	<hr/>
Balance as at March 31, 2020	2,466,963
	<hr/>
Balance as at March 31, 2020	2,466,963
Previous year's profit	379,347
Dividends declared	---
	<hr/>
Balance as at March 31, 2021	2,846,310
	<hr/>

GLOBAL FUNDS TRUST COMPANY

Notes to the financial statements (continued)

As at March 31, 2021

(expressed in Euro)

Note 5 – Financial assets

Financial fixed assets consist of:

Shares in affiliated undertakings

The Company owns 100% of the shares issued by Master Trust Company, a Cayman domiciled company incorporated on June 8, 2011.

Company name	Interest	Acquisition Cost (EUR)	Audited Net Equity March 31, 2021 (EUR)
Master Trust Company	100%	600,000	2,857,825

Investments held as fixed assets

Investments held as fixed assets consist of investments in units/shares of investment funds.

Movements in investments held as fixed assets are summarised as follows:

	2021 EUR
Acquisition cost	
at the beginning of the year	14,455
acquisitions during the year	709
disposals during the year	(38)
at the end of the year	15,126
Value adjustments	
at the beginning of the year	(1,148)
value adjustments for the year	1,098
at the end of the year	(50)
Foreign exchange impact	
at the beginning of the year	(347)
value adjustments for the year	126
at the end of the year	(221)
Net value at the end of the year	14,855
Market value at the end of the year	15,700

GLOBAL FUNDS TRUST COMPANY

Notes to the financial statements (continued)**As at March 31, 2021**

(expressed in Euro)

Note 6 – Taxation

The Company has received an undertaking from the Cayman Islands Government exempting it from all local income, profits and capital gains tax until January 6, 2034. No such taxes exist in the Cayman Islands at the present time.

The Company may be subject to foreign withholding tax on certain interest, dividends and capital gains, imposed on a gross basis.

Note 7 – Creditors

As at March 31, 2021, they consist of audit fees and other assurance services fees for an amount of EUR 111,800 (March 31, 2020: EUR 67,000), fees payable to Global Funds Management S.A. for an amount of EUR 88,624 (March 31, 2020: EUR 85,140) following two agreements signed between the two entities on January 12, 2015 and September 28, 2016, fees payable to Nomura Bank (Luxembourg) S.A. for an amount of EUR 1,337,000 (March 31, 2020: EUR 3,425,000) following a framework agreement signed between the two entities on March 31, 2014, and other payables for EUR 159,937 (March 31, 2020: nil). The services provided by Nomura Bank (Luxembourg) S.A. include without limitation asset management support, legal affairs, compliance, internal audit, IT, administrative, infrastructure services, etc.

Note 8 – Staff

The Company did not have any employees during the years ended March 31, 2021 and March 31, 2020.

Note 9 – Related party transactions

The Company is fully owned by Nomura Bank (Luxembourg) S.A. (incorporated in Luxembourg). The ultimate parent of the Company is Nomura Holdings Inc. and is located in Tokyo.

A number of banking transactions are entered into with Nomura Bank (Luxembourg) S.A. in the normal course of business. These include current accounts and foreign exchange currency transactions.

For the year ended March 31, 2021, the Company paid debit interests on its current accounts opened at Nomura Bank (Luxembourg) S.A. for an amount of EUR 28,965 (March 31, 2020: EUR 20,798). The interest rates applied are derived from the short term deposit rates available on the market minus the same spread applicable to non-related party clients.

In addition, fees are invoiced to the Company by Nomura Bank (Luxembourg) S.A. and Global Funds Management S.A. (cf. Note 7 above).

GLOBAL FUNDS TRUST COMPANY

Notes to the financial statements (continued)**As at March 31, 2021**

(expressed in Euro)

Note 10 – Gross profit or loss

For the years ended March 31, 2021 and 2020, this caption can be analysed as follows:

	<i>March 31, 2021</i>	<i>March 31, 2020</i>
	<i>EUR</i>	<i>EUR</i>
Management fees	7,322,957	8,072,574
Other external charges	(6,928,371)	(7,675,388)
	<u>394,586</u>	<u>397,186</u>

For the year ended March 31, 2021, the Other external charges consist mainly of annual fees due to Nomura Bank (Luxembourg) S.A. for an amount of EUR 6,062,000 following a framework agreement signed between the two entities (March 31, 2020: EUR 6,960,000) and other fees for a total amount of EUR 866,371 (March 31, 2020: EUR 715,388).

Note 11 – Other interest and similar expenses

For the year ended March 31, 2021, the Company incurred a net loss on spot foreign exchange transactions for an amount of EUR 26,111 (March 31, 2020: net loss for EUR 4,083).

Note 12 – Assets under management

Assets under management which are not beneficially owned by the Company but for which the Company has investment management responsibility have been excluded from the balance sheet. Such assets amount to approximately EUR 38,789 million as at March 31, 2021 (March 31, 2020: EUR 30,331 million).

Note 13 – Impact of COVID-19

The pandemic had no significant impact on the Company's activities during the year ending March 31, 2021. The Company has taken the appropriate sanitary measures to ensure its proper functioning.

Note 14 – Subsequent events

No events have occurred subsequent to March 31, 2021 that would require adjustment to or additional disclosure in the annual accounts as of March 31, 2021.

独立監査人の監査報告書

グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
取締役会 御中

財務諸表の監査報告書

監査意見

我々は、グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー（以下、「貴社」という。）の2021年3月31日現在の貸借対照表および同日に終了した年度の損益計算書、ならびに重要な会計方針の要約を含む財務書類に対する注記で構成される、財務諸表について監査を行った。

我々の意見では、添付の財務諸表は、ルクセンブルグにおいて一般に認められた会計原則に準拠して、貴社の2021年3月31日現在の財務状態、ならびに同日に終了した年度の財務実績およびキャッシュ・フローについてすべての重要な点において公正に表示しているものと認める。

意見の根拠

我々は、国際監査基準（以下、「I S A s」という。）に準拠して監査を行った。当該基準の下での我々の責任については、本報告書の「財務諸表の監査に関する監査人の責任」の項において詳述されている。我々は職業会計士のための国際倫理規程（国際独立性基準を含む。）（以下、「I E S B A 規程」という。）に従って貴社から独立した立場にあり、我々はI E S B A 規程に従って他の倫理的な義務も果たしている。我々は、我々が入手した監査証拠が監査意見表明のための基礎を得るのに十分かつ適切であると判断している。

貴社の2021年の年次報告書に含まれるその他の情報

経営陣は、年次報告書を構成するその他の情報（財務書類およびそれに対する我々の監査報告書は含まれない。）に関して責任を負う。

財務諸表に対する我々の監査意見は、その他の情報を対象としておらず、我々は、その他の情報に対していかなる形式の結論の保証も表明しない。

財務諸表の監査に関する我々の責任は、その他の情報を精読し、当該情報が、財務諸表または我々が監査で入手した知識と著しく矛盾していないか、もしくは重要な虚偽表示があると思われるかについて検討することである。我々が実施した調査に基づき、当該情報に重要な虚偽表示があるという結論に達した場合、我々はその事実を報告する義務がある。この点に関し、我々に報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営陣および取締役会の責任

経営陣は、ルクセンブルグにおいて一般に認められた会計原則に準拠して当財務諸表の作成および適正表示、ならびに不正または誤謬のいずれに起因するかを問わず、重要な虚偽表示がない財務諸表を作成するために必要であると経営陣が決定する内部統制に関して責任を負う。

財務諸表の作成において、経営陣は、貴社が継続企業として存続する能力を評価し、それが適用される場合には、経営陣が貴社の清算または運営の停止を意図している、もしくは現実的にそれ以外の選択肢がない場合を除き、継続企業の前提に関する事象を適宜開示し、継続企業の会計基準を使用する責任を負う。

取締役会は、貴社の財務報告プロセスの監督に責任を負う。

財務諸表の監査に関する監査人の責任

当報告書は、取締役会のためにのみ作成されている。我々の監査業務は、我々が監査報告書で述べることが求められている事項を取締役に述べるために引き受けており、それ以外の目的はない。法の許す最大限の範囲で、我々は、我々の監査業務、当報告書、または我々が形成する意見に関して、貴社および取締役会以外に誰に対しても責任を引受けずまた負わない。

我々の目的は、不正または誤謬のいずれに起因するかを問わず、財務諸表に全体として重要な虚偽表示がないかどうかにつき合理的な保証を得ること、および監査意見を含む監査報告書を発行することである。合理的な保証は高い水準の保証ではあるが、I S A s に準拠して行われる監査が、重要な虚偽表示を常に発見することを保証するものではない。虚偽表示は不正または誤謬により生じることがあり、重要とみなされるのは、単独でまたは全体として、当該財務諸表に基づく利用者の経済的意思決定に影響を及ぼすことが合理的に予想される場合である。

I S A s に準拠した監査の一環として、監査全体を通じて、我々は専門的判断を下し、職業的懐疑心を保っている。また、以下も実行する。

- 不正または誤謬のいずれに起因するかを問わず、財務諸表の重要な虚偽表示のリスクを認識および評価し、それらのリスクに対応する監査手続を策定および実行し、我々の監査意見表明のための基礎として十分かつ適切な監査証拠を得る。不正による重要な虚偽表示は共謀、偽造、意図的な削除、不正表示または内部統制の無効化によることがあるため、誤謬による重要な虚偽表示に比べて、見逃すリスクはより高い。
- 貴社の内部統制の有効性についての意見を表明するためではなく、状況に適した監査手続を策定するために、監査に関する内部統制を理解する。
- 使用される会計方針の適切性ならびに経営陣が行った会計上の見積りおよび関連する開示の合理性を評価する。
- 経営陣が継続企業の前提の会計基準を採用した適切性および、入手した監査証拠に基づき、貴社が継続企業として存続する能力に重大な疑義を生じさせる可能性のある事象または状況に関連する重要な不確実性の有無について結論を下す。重要な不確実性が存在するという結論に達した場合、我々は、当報告書において、財務諸表における関連する開示に対して注意喚起し、当該開示が不十分であった場合は、監査意見を修正する義務がある。我々の結論は、当報告書の日付までに入手した監査証拠に基づく。しかし、将来の事象または状況が、貴社が継続企業として存続しなくなる原因となることがある。
- 開示を含む財務諸表の全体的な表示、構成および内容について、また、財務諸表が、適正表示を実現する方法で対象となる取引および事象を表しているかについて評価する。

我々は取締役会に、特に、計画した監査の範囲および実施時期、ならびに我々が監査中に特定した内部統制における重大な不備を含む重大な監査所見に関して報告する。

アーンスト・アンド・ヤング・リミテッド

グランド・ケイマン、ケイマン諸島

2021年6月16日

[次へ](#)

Independent Auditor's Report

The Board of Directors
Global Funds Trust Company

Report on the Audit of the Financial Statements

Opinion

We have audited the financial statements of Global Funds Trust Company (the "Company") which comprise the balance sheet as at March 31, 2021, and the profit and loss account for the year then ended, and notes to the financial statements, including a summary of significant accounting policies.

In our opinion, the accompanying financial statements present fairly, in all material respects, the financial position of the Company as at March 31, 2021 and its financial performance and its cash flows for the year then ended in accordance with accounting principles generally accepted in Luxembourg.

Basis for Opinion

We conducted our audit in accordance with International Standards on Auditing (ISAs). Our responsibilities under those standards are further described in the *Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements* section of our report. We are independent of the Company in accordance with the International *Code of Ethics for Professional Accountants (including International Independence Standards)* (IESBA Code) and we have fulfilled our other ethical responsibilities in accordance with the IESBA Code. We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Other Information Included in the Company's 2021 Annual Report

Other information consists of the information included in the Annual Report, other than the financial statements and our auditor's report thereon. Management is responsible for the other information.

Our opinion on the financial statements does not cover the other information and we do not express any form of assurance conclusion thereon.

In connection with our audit of the financial statements, our responsibility is to read the other information and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the financial statements or our knowledge obtained in the audit or otherwise appears to be materially misstated. If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of this other information, we are required to report that fact. We have nothing to report in this regard.

Responsibilities of Management and the Board of Directors for the Financial Statements

Management is responsible for the preparation and fair presentation of the financial statements in accordance with accounting principles generally accepted in Luxembourg, and for such internal control as management determines is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the financial statements, management is responsible for assessing the Company's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless management either intends to liquidate the Company or to cease operations, or has no realistic alternative but to do so.

The Board of Directors is responsible for overseeing the Company's financial reporting process.

Auditor's Responsibilities for the Audit of the Financial Statements

This report is made solely to the Board of Directors, as a body. Our audit work has been undertaken so that we might state to the Board of Directors those matters we are required to state to them in an auditor's report and for no other purpose. To the fullest extent permitted by law, we do not accept or assume responsibility to anyone other than the Company and the Board of Directors as a body, for our audit work, for this report, or for the opinions we have formed.

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the financial statements as a whole are free from material misstatement, whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. Reasonable assurance is a high level of assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with ISAs will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if,

individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these financial statements.

As part of an audit in accordance with ISAs, we exercise professional judgment and maintain professional skepticism throughout the audit. We also:

- Identify and assess the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.
- Obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Company's internal control.
- Evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by management.
- Conclude on the appropriateness of management's use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Company's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the financial statements or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Company to cease to continue as a going concern.
- Evaluate the overall presentation, structure and content of the financial statements, including the disclosures, and whether the financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

We communicate with the Board of Directors regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

Ernst & Young Ltd.

Grand Cayman, Cayman Islands

June 16, 2021

() 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は本書提出代理人が別途保管しています。